

栗木台地域包括支援センターだより

2025年10月1日 第19号発行 栗木台地域包括支援センター 発行責任者 社会福祉法人 一廣会 理事長 山口 和子
〒215-0031 麻生区栗平2-1-6 小田急マルシェ1F 電話 044-987-6505 F A X 044-380-7970



川崎市が責任主体となり委託された公的な相談機関です。

もしもの時に
そなえて安心！

認知症等行方不明

SOSネットワーク



川崎市では、認知症等で行方不明になる恐れがある高齢者に、事前に名前や連絡先、身体の特徴等を登録していただき、行方不明になった際に早急な発見が出来るよう関係機関に情報提供を行う「川崎市認知症等行方不明SOSネットワーク」を実施しています。

また、事前に登録いただいた方に、無料でSOSネームプリントを配布しています。

サービス内容

事前に認知症等行方不明SOSネットワークへ登録するとともに、無料でSOSネームプリント(シール36枚・アイロンシール34枚)を作成します。

また、行方不明となった際、ご家族から提出されたSOS届をもとに関係機関に情報提供し、高齢者の安全確保とご家族への連絡・支援をいたします。

さらに、早期の身元特定のためコールセンターを設置しております。

お申込みやご相談は、下記の各地域包括支援センター、もしくは麻生区役所の高齢・障害課高齢者支援係(☎044-965-5148)までご連絡ください。

対象者

- ①市内に居住し認知症等により行方不明となる恐れがある方
- ②当事業に事前登録された方

利用料

登録等に関する費用負担はありません。

SOSネームプリントとは？



ネームプリントの二次元コードを携帯等で読み込むと個人IDが表示され、コールセンターを通して身元を特定し、事前に登録いただいたご家族へ連絡します。

よく持ち歩く持ち物や靴にシールを貼付けていただくことで、行方不明になった際に早期に身元を特定することができます。

お住まいの地域を担当するセンターにご相談ください

王禅寺西1〜4丁目、王禅寺東1・2丁目、上麻生1〜4丁目	新百合地域包括支援センター(つくしの里)	☎969-3388
高石4〜6丁目、東百合丘、百合丘	百合丘地域包括支援センター(るーむら麻生)	☎959-6522
王禅寺、王禅寺東3〜6丁目、虹ヶ丘 早野、下麻生、下麻生2〜3丁目	地域包括支援センター虹の里	☎986-4088
王禅寺西5〜8丁目、上麻生 上麻生5〜7丁目、白山、下麻生1丁目	柿生アルナ園地域包括支援センター	☎989-5403
高石1〜3丁目、多摩美、千代ヶ丘、万福寺	 高石地域包括支援センター	☎959-6020
片平、白鳥、五力田、古沢、岡上、栗平一丁目	 片平地域包括支援センター	☎986-4986



栗木台地域包括支援センター
☎987-6505

担当地域

はるひ野、南黒川、黒川、栗木台、栗木
栗平2丁目、金程、向原、細山

内田(うちだ)・喜元(きもと)・本阿彌(ほんあみ)・岩壁(いわかべ)・岡本(おかもと)

センター全般についてのお問合せは、麻生区地域みまもり支援センター高齢者支援係 ☎965-5148 まで

第二の青春、地域で輝く！

栗木台地域包括支援センターの地域で活躍されている素敵な住民のみなさんをご紹介します！

DT様は、長年近隣の地域活動に精力的に取り組まれています。昨年度は同じ思いのご友人と新たな地域活動をスタートされました。人との繋がりと地域を大切にしながら活動されています。

—— 地域活動に参加したきっかけは何ですか？

元々デイサービスで10年間パートとして働いており、高齢の方たちとの交流が好きでした。退職後もボランティアとして関わっていましたが、11年ほど前に包括支援センターから「マロンカフェ」立ち上げを手伝ってほしいと声をかけられ、参加するようになりました。マロンカフェが開催できなくなった後も、栗平東公園の健康ウォークに参加したり、参加者と交流を続ける中で「もっと気軽に話せる場所がほしい」という課題意識を持つようになりました。そんな時、区役所の生活支援コーディネーターの紹介で常念寺に集まることになり、同じ気持の仲間たちと一緒に、新しい集まりを立ち上げました。



—— これからどうしていこうと思いますか？

小学生の頃、養護施設の友人と交流する中で児童福祉に関心を持ち、専門学校に進学。結婚で一度離れましたが、自身の年齢と祖母の介護を機に介護の道へ進みました。介護の勉強を通して、認知症の方も地域全体で温かく支えられ、高齢者と子どもが仲良く暮らせる社会にしたいという思いを強くしました。今後も、できる限り地域に貢献し、誰かの力になりたいと考えています。

KT様は、以前より木彫り彫刻を趣味とされ、さまざまな大作をつくってこられました。しかし、疾病を機に彫刻刀を使うことが難しくなりやめることを余儀なくされました。その後、介護保険のサービスを使ってリハビリを行い、小作品ではありますが、木彫りを再開されました。

—— 何年ぶりの再開となりますか？

7年ぶりになります。

—— 再開のきっかけは？

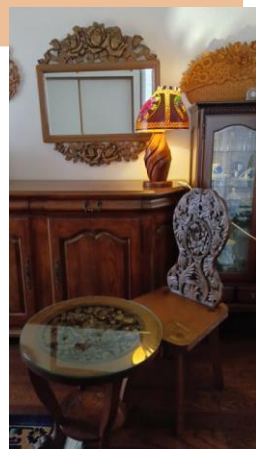
散歩をしたり体操をしたり、わらじづくりなどやっていたけれど、時間をもてあますようになり、友達から勧められて再開しました。

—— 再開してみてどう感じになっていますか？

好きなことをやっていると楽しいと感じます。

—— これからのようなものに挑戦したいですか？

以前のような大作は難しくても、小作品を作り続けていきたいです。



包括をもっと身近に！

ほうかつカフェのご案内



栗木台包括では地域の方々に地域包括支援センターを知っていただく取り組みとして、包括を開放するイベント『ほうかつカフェ』を企画しています。今年は**11月22日(土)**に開催予定です。ご相談のない方でもお気軽にご来所ください。楽しんでいただける内容を企画してお待ちしています。